

長崎県立大村城南高等学校育友会新聞

# 城南

OMURA JONAN  
HIGH SCHOOL

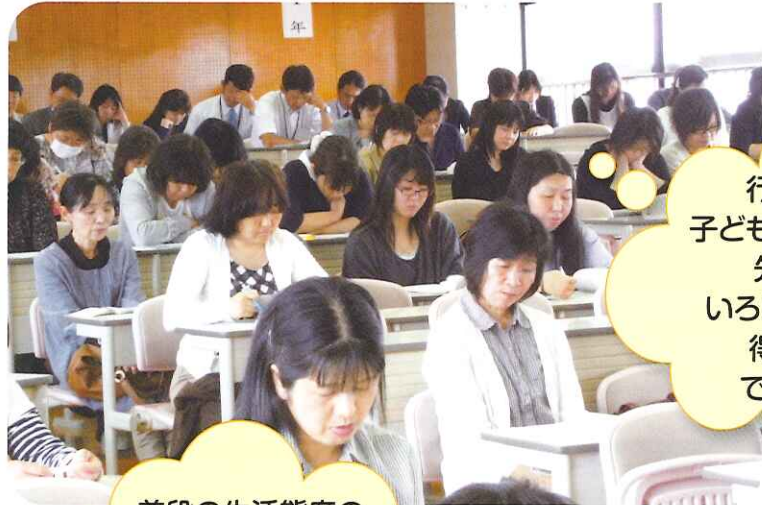
**VOL.16**

[発行者]長崎県立大村城南高等学校育友会  
会長 井手 浩  
〒856-0835 長崎県大村市久原1丁目416番地  
TEL(代表)0957-54-3121  
FAX 0957-27-3056  
[発行日]平成24年10月10日  
[印刷所]オムロプリント株式会社

## 育友会総会 5月13日(日)

毎年とても  
楽しみでーす。  
売り切れ続出のため  
早目の御来店が  
お勧めです。

**農産物  
等販売**



行事予定や  
子どもの専門科目の  
先生など、  
いろいろな情報を  
得ることが  
できました。

参加人数が  
少ない中、  
お父さんの参加に  
盛り上がりました。

普段の生活態度の  
話を聞きながら、  
就職進学の状況の厳しさを  
改めて  
感じさせられました。

**学級  
懇談会**



**学年  
懇談会**



## 進路実現に向けた学習活動



### 進路ガイダンス

### 学習会

### 進路講習会



大学、専門学校  
から来ていただき、学校の説明  
を保護者の方も  
一緒に学習  
しました。



夏季休業日  
には、進学を目指  
した生徒が自主的  
に参加し、熱心に  
学習に取り組み  
ました。



外部から講師に  
来ていただき、企  
業側から好まれ  
る人間像につい  
て学習しました。



# 城南生と語る会

9月19日(水)

## テーマ あなたが大事にしているもの

この「城南生と語る会」は、育友会会員と生徒が学校生活などについて意見を交わし、その意見を基に子どもたちのますますの成長を支援しようという趣旨に基づき毎年実施しているものです。学年ごとに生徒と保護者が参加し行っています。ここ数年は学年別にテーマを設定していましたが、今年度は全学年共通のテーマで実施しました。事前に全生徒を対象に行ったアンケートでは、「友だち」や「携帯電話」などの意見が多かったため、当日はそれらについての話を中心に、親子関係や命の大切さについての話など織り交ぜながら、和やかな雰囲気での意見交換を行うことができました。

### ●参加しようと思った理由を教えてください。

#### 保護者の意見

- 子どもたちの思っていることを聞きたかった。(1年・3年)
- 他の生徒との交流(1年・3年)
- 高校生の意見を聞いたり、表情を見たりしたかった。(1年)
- 前回も参加して、高校生と話すことが楽しかった。(2年・3年)
- 家庭では気軽に話さず、子どもに聞けないようなことを聞いてみたいと思った。(2年)

#### 生徒の意見

- 先生方に勧められた。(1年・2年・3年)
- 興味があった。(1年・2年)
- 保護者の方の意見が聞きたかった。(1年)
- 友達に誘われた。(1年・3年)
- 他の生徒、親の意見を聞いてみようと思った。(2年)
- やる気に満ち溢れていたから(3年)
- これまで参加してきたから(3年)
- 何を話されているのか気になったから。(3年)
- 進路が決まってゆとりがあったから。(3年)
- 面接の練習。自分の意見を言うと思ったから。(3年)



### ●同じ会に参加した生徒の意見を聞いてどう思いましたか。

#### 保護者の意見

- 正直な気持ちが出てよかった。(1年)
- 意外な結果や、やはり...と思う意見があった。(1年)
- 親を見る目、子どもの見る目の違いがあった。(1年)
- もう少し本音が出てよいかと思う。(1年)
- みなさんしっかりしてて感心した。(1年)
- おとなしくてあまり積極的な意見が出てこなかった。(1年)
- とても素直でまじめな態度であった。
- もう少し不真面目な様子が見られるのかなと思った。(1年)
- 子どもらしい意見ではなく、1人の大人としてのしっかりした意見でした。(2年)
- 大事にしているものの中で友達と答える生徒が多いということは高校生ライフを高校生らしく過ごしているのだと思った。(2年)
- もう少し違う意見が聞きたかった。(3年)
- しっかりした意見が聞けた。(3年)



### ●参加して印象に残った内容をお書きください。

#### 保護者の意見

- お小遣いの金額が聞いてよかった。(1年)
- 携帯電話を持っていない人が3分の1のこと。(1年)
- 友達を大切に思っている気持ちが嬉しかった。(1年)
- 大事なことに携帯電話が一番多いと思っていたのですが、親友が一番多かったことが意外でした。(1年)
- 親が子どもをしかるとき、心の中で何を考えているのか質問された。(2年)
- 保護者の参加が少なかった。(3年)
- 生徒の参加人数を増やしたい。(3年)
- いろいろな話が聞けた。(3年)
- 携帯電話を1日5時間以上使うこと。(3年)



#### 生徒の意見

- 通学カバンが大事と答えた人が立派だと思う。(1年)
- 堅苦しいものかと思っていたが、やんわりとした雰囲気での意見が言いやすかった。(1年)
- 携帯電話を安全に使ってほしいと思っているという意見が印象に残った。(1年・2年)
- 感謝することは何よりも大事なことを改めて思った。(1年)
- 大事にしていることの中に友達みたいな意見が多かったことがとてもうれしく思った。(1年・3年)
- 結構、意見もたくさん出て自分の思っていたことも意見できたので全部印象に残った。(1年)
- いじめの内容が心に残った。(2年)
- 大事にしているものが親。(2年)
- 進路について(2年)
- 子どもは親から離れたくないと思っているけれど、親は離れたいしてほしいと思っている。でも、子どもを応援したい気持ちはある。(2年)
- 自分たちが親離れをするときの親の心情が印象的だった。(2年)
- いじめや自殺についての話題。やっぱり、最近の日本はおかしいと思いました。いじめや自殺もいじめられる側も命は大切にしてほしいと思いました。(2年)
- 城南に3年通ってよかったところ、悪かったところ。(3年)
- 携帯電話の料金が家族より高かったこと。(3年)
- 家族が一番大切だという意見(3年)
- テーマ以外の話を聞くことができた。(3年)

### ●参加した会のテーマについてどのように思いましたか。

#### 保護者の意見

- 全学年統一テーマでよかったと思う。(1年・2年)
- 話し出すきっかけとなってよかった。(1年)
- 充実した時間も楽しんだ(1年)
- テーマはよいが、アンケート内容でもっと詳しく理由を踏み込んでほしかった。(1年)
- もう少し詰めたテーマでもよかった。(2年)
- いろいろなことが分かってよかった。(3年)
- 大事にしていくことは人生において大きな意味がある。(3年)
- 学年別のテーマが良かった。

#### 生徒の意見

- 普段考えないことなのでよかった。(1年・3年)
- それぞれ意見がある真剣な話があった。(1年)
- よく考えられていた。(2年・3年)
- いいと思うが、1つでは限界がある。(2年)
- 重いテーマだったけれど、楽しかった。(2年)
- 簡単そうで、考えるとしんどかった。(1年・2年・3年)
- それぞれ大事にしているものが違い、よかった。(2年)
- 今一番聞かなければいけないことと思った。(3年)
- アンケート結果にびっくりした。(3年)
- 大事なものを持つべきだと思った。(3年)
- 意見を多く出すことのできるテーマだった。(3年)



### ●同じ会に参加した保護者の方の意見を聞いてどう思いましたか。

#### 生徒の意見

- 高校生は大人と子どものどちらかの気持ちを持っていると思うので、理解できないこともあった。(1年)
- いろいろなことを経験した大人の意見だと思った。(1年)
- 親の立場での話が聞いてよかった。(1年)
- 保護者の方は子どもをいつも考えているのだなと思った。(1年)
- すごくいい話をしてくださって、心に響きました。(1年)
- 保護者としての本心が聞いてよかった。
- 親の目線側からの意見を聞いて納得したり、進路のことについて改めて考えることができた。(2年)
- いつも親に聞けないような貴重な意見を聞いて、はじめて知ることばかりでした。
- みんな自分とは違う意見を持っていて面白かった。(2年)
- よく考えてもらって、返答が丁寧だった。(2年)
- 話し方が、堂々としていた。(3年)
- 家族のことを大事にしていると思った。(3年)
- 勉強になった。(3年)
- わかりやすかった。(3年)
- 参考になった。(3年)
- 家族の愛が良かったなと思います。
- ほとんどみんな同じ意見だった。(3年)
- 保護者の思っていることが分かった。(3年)
- よく子どものことを考えてくれていると思った。(3年)
- いい話が聞いてよかった。(3年)



### ●これからの「城南生と語る会」について、ご意見やご要望等ありましたらお書きください。

#### 保護者の意見

- 保護者の参加者が増えればいいと思います。(1年・2年・3年)
- よい子ばかりでした。特に1年生は意見が出ないので、もう少しフレンドリーで意見を言える子どもを増やしてもいいかもしれません。(1年)
- いろいろな意見を言える生徒が来てくれると話がもっと広がるかなと思いました。(1年)
- 次回もテーマがあり、アンケートがあるといいと思いました。(1年)
- 選ばれた子どもたちだけでなく、もっと多くの子どもと多くの親たちが参加できればいいのではないかと。(1年)
- 子どもたちにテーマを決めてもらってもいいと思う。(2年)
- おとなの人数を増やしたい。特に男性の参加がほしい。(2年)
- 続けてほしい。(3年)
- テーマを掘り下げているものにしてほしい。(3年)
- 昨年はもっと活発な意見、会話ができた。(3年)

#### 生徒の意見

- 来年も参加したい。(1年・2年)
- とてもよかった。(1年)
- 今回は貴重な体験ができてよかったし、とても楽しく取り組むことができたのでよかった。(1年)
- 次回もまた、たくさん話をしたいと思いました。(2年)
- 時間が短いと思います。(2年)
- 意見が浅かったから、もっと詳しくしたほうがいいと思う。(3年)
- これからも続けていくといいと思う。(3年)



# 会長挨拶

育友会会長 井手 浩

本校育友会会員の皆さん「こんにちは」。本年度も会長としてお世話になることになりました。昨年度は創立70周年という事で体育祭、城南祭、記念式典と記念行事が目白押しでした。この記念すべき年に会長としてまた、卒業生の1人としてこの事業に携わることができましたことに感謝申し上げます。

さて、近年の社会は、世界経済のグローバル化、高い失業率、少子高齢化の進行、年金問題と今までの価値観が多方面で崩れつつあり子どもたちの就職難の問題ばかりでなく親も様々な不安を抱え、日々の生活を送っているのではないのでしょうか。そして、このきびしい社会を生き抜く子どもを育てようとする皆さん懸命に努力されていることと思います。しかし、「子どもは何を考えているのやら...」とか、「多感なこの時期どう子どもと接すれば...」と悩んでいる方もいらっしゃるのではないかと思います。

私たち育友会では行事や活動を通じ問題解決やその糸口を探したり、家庭、学校、地域との連携により子どもたちの健全育成や学校生活が快適に送れるよう支援しております。

最後に5月に総会の御案内をいたしましたところ、御多忙の中御出席されました皆様ありがとうございました。しかし残念なことに、参加者が少ないということです。御多忙と存じますが、私たち役員も学校側と協議を重ね皆様が出席しやすい日程、時間を検討しております。来年度の総会には、ぜひ、御理解をいただき多くの方の御出席を願ひまして、挨拶いたします。



# 「あいさつ・清潔・時間」の徹底を

学校長 田坂 吉史

平成24年度、創立71年目がスタートして、早6ヶ月が過ぎました。今年度は、男子111人、女子393人の総勢504人でのスタートです。始業式では、次のようなことを生徒の皆さんに話をしました。

1年のスタートに当たって、努力を必要とする、高い、自分の目標を持つてほしい。そこで、今年度の重点目標である、三つの提案をします。

一つ目は、「あいさつ」です。会話は、あいさつから始まります。

大きな声でだれとでも、また距離が離れていても挨拶ができる人になってほしいと思います。今日からお互いに実践していきましょう。

二つ目は、「清潔」です。清らかな心は清らかな環境に宿ります。身なりの清潔、身の回りの清掃に徹してほしいと思います。

三つ目は、「時間」です。遅刻しない、始業時間に遅れない等の時間を守ることは当然のことですが、家庭学習時間の確保にも努めてほしいと思います。

以上の「あいさつ」「清潔」「時間」を本年度のキーワードにし、生徒の皆さんの進路実現につなげていきたいと思いますので、御家庭でも御協力をお願いします。本校のキャッチフレーズでもある『頑張る君を応援する高校』に私たちも徹したいと思ひます。



# 九州地区高等学校PTA連合大会に参加して

育友会副会長 原 昌範

九州地区高等学校PTA連合大会に参加し、今大会のテーマ「ふかめんね絆ふくおか大会」と題しまして、会長、副会長、そして教頭先生が参加しました。

開催内容については、第1分科会「青少年の健全育成とPTA活動」、第2分科会「進路指導とPTA活動」、第3分科会「地域コミュニティとPTA活動」と各役員別れて参加し、私は第3分科会に出席しました。

主な内容は、九州女子大学 准教授 大島まな氏による

①「いきる力」が育っていない子どもたち、②「地域の教育力とは何か」、③「自立トレーニングプログラムの創出」、④「子どもは地域で生活し、社会で生きていく」基調講演の後、4名の方によるパネルディスカッションが行われました。

今回の大会に参加して感じた事は、最近報道でよく話題となっている「いじめによる自殺」が多発している状況の中、講演内容にもありました「いきる力・地域の教育力」ということです。

日本古来の子育ては妻に任せて、夫はひたすら仕事に打ち込むという、この伝統的なあり方を反省し、PTA活動や授業参観など子ども達のふれあいのために時間を出来るだけ取れるように努力したいと考えさせられました。

最後に、私たち保護者が協力し合いPTA活動を実践する事が学校を支え、地域の和を生み、そのことが「子ども達のために」につながっていくものと信じています。

# 全国高等学校PTA連合大会に参加して

育友会監事 宮園 千枝美

今年度は和歌山県和歌山市、田辺市で8月22日(水)～24日(金)に開催されました。メインテーマは「和をもって響き合え」、サブテーマを「つれもて広げる共育の輪」とし、「つながり」を大切にしたい大会でした。2011年は東日本大震災、さらに和歌山を含む紀伊半島を襲った台風による豪雨災害など、自然が猛威をふるった1年だった為、このような状況の中、人と人とのつながりがいかに大切であるかを再認識させられる年でもありました。また、現在物質的に豊かで便利な環境に甘んじながらも、このままではいけないと多くの人が感じています。私たちが大事な子どもたちの環境をもっと温かい血の通ったものにしたいたいと思います。そのためには、家庭や学校だけでなく、地域や公共の力は不可欠です。子どもも大人も共に育つ社会を目指して、私たちのできること、私たちがやるべきことは何なのか、真剣に取り組んでいく場になるように、大会概要、日程が組まれていました。

第1日目は、高校生歓迎アトラクションの吹奏楽から始まり、開会式、表彰式と進み、午後からも高校生による和太鼓、少林寺拳法、箏曲が披露されました。メイン会場も軽く5千人はこえる人たちの前で、かなり緊張もされていたと思います。そのような中で素晴らしいものを見せていただき、私自身感銘を受け全身何度か鳥肌状態が続きました。この日の為に「生懸命練習をされてきた成果が見れば本当に良かったです。その後、宇宙航空開発機構教授の川口淳一郎氏の基調講演があり1日目は終了しました。

2日目は、各分科会会場に分かれ、それぞれのテーマにそつての事例発表と研究協議が行われました。私は、テーマ「学校教育とPTA」の育成する学校づくりをめざし、PTAはどのような活動を参加しました。基礎になる「生きる力」を育成する学校づくりをめざし、PTAはどのような支援をすべきかについて全国代表4校の発表者の皆さんに共感したことは、まずは学校を理解し先生たちがされている学校教育を理解することの大切さ、保護者が自分自身の考え方の枠のみにこだわらず、より多くの情報を共有し親同士の交流の場を持つことの大切さです。悩みを分かち合う、悩んでいるのは自分1人ではない、いろいろな見方、考え方があるといふ事に気づくことも大切なことで、新たな出会いを通して親は自分自身の人間性を磨き成長することができると考えられるところです。この大会を通じてPTA活動に対する熱意と愛を感じ、たくさん刺激を受けて帰ってきました。私にとつても貴重な体験ができたことに感謝します。ありがとうございました。

# 田んぼアート

9月、みごとに「がんばくん」が出現!



今年6月、田植え前。さて、何の絵が出現するでしょう?ここに色違いの穂を植え分けました。

## これからの日程

- 10月14日(日) 【諫早・大村・東彼地区PTA研修会】
- 11月10日(土)～11月11日(日) 【城南祭】
- 12月11日(火)～12月13日(木) 【1年インターンシップ】
- 12月16日(日)～12月19日(水) 【2年修学旅行】
- 2月7日(木) 【マラソン大会】
- 3月1日(金) 【卒業式】

## 編集後記

今年も「城南」を充実したものにしようと思ひのある話し合いが始まりました。学校行事も記載されています。参加できる行事は保護者の方も是非出席されてください。出席することで子育てするヒントをたくさん見つけることができます。卒業生の声、城南生と語る会での親の目、子ども目、とても心に残りました。広報誌作成の折、たくさん御協力をいただき、ありがとうございました。